

# 種類別明細書の記入例

## ■増加資産用

年号  
次の数字でご記入ください。  
1: 明治 2: 大正 3: 昭和  
4: 平成 5: 令和

資産の種類  
次の数字でご記入ください。  
1: 構築物  
2: 機械及び装置  
3: 船舶  
4: 航空機  
5: 車輛及び運搬具  
6: 工具、器具及び備品

異動コード  
記入不要

令和〇〇年度		種類別明細書 (増加資産・全資産用)										所有者名		1枚のうち				
※所有者コード		記入不要										株式会社 藤岡		1枚目				
※異動コード	資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			(イ) 取得価額			(ロ) 耐用年数	(ハ) 減価残存率	(ヘ) 価額	※課税標準の特例		※課税標準額	増加事由	摘要
					年号	年	月	千円	百円	円				終年(率)	コード			
	2		太陽光発電設備	1	5	2	5	2	000	000	17					1	2	
	6		パソコン	6	5	2	10	1	200	000	4					3	4	他店から移動
	01																	
	02																	
	03																	
	04																	
	05																	
小計									3	200	000							

増加事由  
該当する数字を○で囲んでください。  
1: 新品取得  
2: 中古取得  
3: 移動による受入  
4: その他

摘要  
特例適用や非課税該当など、その旨をご記入ください。

取得価額  
資産の数量が複数ある場合は、合計の値をご記入ください。  
例: パソコン: 2台 (1台: 250,000円)  
⇒500,000円

耐用年数  
原則、法人税又は所得税の申告と同じ耐用年数をご記入ください。

## ■減少資産用

本市より送付した「種類別明細書」がお手元にありますら、そちらを参考にご記入ください。  
なお、資産の一部が減少した場合には、【数量】及び【取得価額】について、減少した値をご記入ください。

令和〇〇年度		種類別明細書 (減少資産用)										所有者名		1枚のうち				
※所有者コード		記入不要										株式会社 藤岡		1枚目				
資産の種類	資産コード	資産の名称等	数量	取得年月			取得価額	耐用年数	申告年度	減少の事由及び区分				摘要				
				年号	年	月				1 売却	2 滅失	3 移動	4 その他		1 全部	2 一部		
	6		応接セット	1	4	23	8		200	000	8	1	2	3	4	1	2	鬼石(株)に売却
	6		パソコン	4	4	26	3		800	000	4	1	2	3	4	1	2	廃棄
	01																	
	02																	
	03																	
	04																	
	05																	
小計									1	000	000							

減少の事由及び区分、摘要  
該当するものを○で囲んでください。「1 売却」、「3 移動」、「4 その他」の場合は、【摘要】に詳細をご記入ください。

※種類別明細書が不足の場合は、お手数ですが複写のうえご記入ください。